

平成 28 年度 活動報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

認定特定非営利活動法人バージャー病研究所

1 事業実施の成果

バージャー病の病因について細菌学的な研究がさらに進められ、公表することができた。

今後、バージャー病撲滅のためには諸外国との国際協力が重要性を増してくると思われる。当研究所では国際的啓発事業として医学部歯学部連携のもとカンボジアでのバージャー病フォーラムを開催した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額(千円) |
|-------------------------|--------------------------------------|------|----------------------------|-------|----------------------------|---------|
| A) バージャー病に関する研究事業 | 歯周病菌関与に関する細菌学的研究・発表 | 随時 | バージャー病研究所及び東京医科歯科大学歯学部歯周病科 | 5名 | 外来患者 50名 | 1223 |
| B) バージャー病に関する疫学的研究事業 | 歯周病患者とHLA 遺伝子に関する基礎的研究 | 随時 | バージャー病研究所及び東京医科歯科大学難治疾患研究所 | 4名 | 検体保存 患者 100名 | 0 |
| C) バージャー病撲滅の為の国際的事業 | バージャー病の多い国(バングラデシュ、インド、スリランカ等)への啓発活動 | 随時 | バージャー病研究所 | 5名 | 各国バージャー病患者 20万~30万名(推定) | 640 |
| D) バージャー病に関する啓発活動 | 国内におけるバージャー病に関する啓発活動 | 随時 | バージャー病研究所 | 2名 | 国内患者 及び関係者 | 1035 |
| E) その他血管疾患に関する総合的研究啓発活動 | 閉塞性動脈硬化症、動脈瘤、静脈瘤に対する細菌学的検討・発表 | 随時 | バージャー病研究所及び東京医科歯科大学 | 5名 | 外来及び 入院患者 300名 | 397 |

平成 29 年度 活動計画書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

認定特定非営利活動法人バージャー病研究所

1 事業実施の方針

バージャー（ビュルガー）病の疫学的、細菌学的な研究を進め、アジア諸国を中心とした国際的事業を推進し、実態を正しく広く理解してもらう。認定NPO法人としての基盤を整備し、研究事業・広報・運営を充実させる。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額(千円) |
|-------------------------|--------------------------------------|------|----------------------------|-------|----------------------------|---------|
| A) バージャー病に関する研究事業 | 歯周病菌関与に関する細菌学的研究・発表 | 随時 | バージャー病研究所及び東京医科歯科大学歯学部歯周病科 | 5名 | 外来患者 50名 | 1000 |
| B) バージャー病に関する疫学的研究事業 | 歯周病患者とHLA 遺伝子に関する基礎的研究 | 随時 | バージャー病研究所及び東京医科歯科大学難治疾患研究所 | 4名 | 検体保存 患者 100名 | 0 |
| C) バージャー病撲滅の為の国際的事業 | バージャー病の多い国（バングラデシュ、インド、スリランカ等）への啓発活動 | 随時 | バージャー病研究所 | 5名 | 各国バージャー病患者 20万～30万名（推定） | 800 |
| D) バージャー病に関する啓発活動 | 国内におけるバージャー病に関する啓発活動 | 随時 | バージャー病研究所 | 2名 | 国内患者 及び関係者 | 400 |
| E) その他血管疾患に関する総合的研究啓発活動 | 閉塞性動脈硬化症、動脈瘤、静脈瘤に対する細菌学的検討・発表 | 随時 | バージャー病研究所及び東京医科歯科大学 | 5名 | 外来及び 入院患者 300名 | 400 |